



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

エポニックスHB

1. 塗料名 超厚膜型エポキシ樹脂塗料 (1000 μ m用) (カップ式塗装用途)
 2. 規格 HBS K 5621-2019
 3. 特徴
 1) 1回塗で厚膜が得られる。
 2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。
 3) ボルト部のカップ式塗装に適用できる。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	5kg セット (主剤 2.5kg、硬化剤 2.5kg)				
色相	グレー				
密度 (23°C)	塗料	1.55			
	揮発分	0.86			
粘度 (23°C)	200~220 ポイズ				
加熱残分	98%				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	10 時間	8 時間	6 時間	4 時間
	半硬化	48 時間	24 時間	16 時間	10 時間
標準膜厚	1000 μ m				
引火点	SDS 参照				
発火点	SDS 参照				
爆発限界 (下限~上限)	SDS 参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整*	-			
調合法	主剤 50 部、硬化剤 50 部 (重量比)			
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C
	2 時間	1.5 時間	1 時間	30 分
温度・湿度制限*	温度 : 5°C以下、湿度 : 85RH%以上			
使用シンナー	エポニックス橋梁用シンナー及び同夏型			
塗装方法	塗装方法	カップ式塗装 (ホッパー型電動エアレス)		
	希釈率 (重量)	5%以下		
	標準使用量*	2500g/m ²		
	乾燥塗膜厚*	1000 μ m		
塗装間隔* (20°C)	最小	1 日		
	最大	10 日		
カレット管理膜厚	1100 μ m			

注) *は「鋼橋等塗装基準・同解説 (H6.10)」及び「保安全管理要領第 2 集 土木施工編第 2 編 海峡部橋梁維持修繕 (H28.4)」による。

6. 使用上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、じんあい等の有害な付着物は完全に除去すること。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にすること。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 希釈には、エポニックス橋梁用シンナーを使用する。
- 事前にカップ式塗装説明書を参照し、施工上のポイントを十分に把握した上で施工する。
- 可使時間を超過するおそれがあるため 5kg セットを使用する。
- 作業を中断する際は、電動エアレス塗装機内から塗料を排出し、洗浄すること。

7. 関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	-	-
有害物質表示	SDS 参照	SDS 参照
劇物表示	-	-

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。